

* 事故の発生状況令和5年2月末現在 *

シルバー事業	12～2月 発生分	年度累計	前年同期 発生分
傷害事故	1	3	3
賠償事故	0	15	1
その他事故	0	2	2
計	0	20	6

事故報告（12～2月までの事故発生状況）

（傷害事故1件発生）

- ① 梅の木を剪定しようと、タイヤショベル（フォークリフト仕様）の前部にカゴ（鉄製枠）を固定し、その中に入り1.5～2m高さの不用な枝を剪定していたところ、オペレーターの体の一部が接触したためカゴが前に傾きそのはずみで地面に頭から転落し脊椎を損傷した。（怪我の程度は、第6・7脊椎脱臼骨折）

⇒2人作業なので、オペレーターは作業者の動きをよく見ておく義務があるが、不十分であり作業者はカゴの前方安全柵を上部まで上げていなかったのが原因。

指差し 声出し 安全確認



【ハインリッヒの法則】



安全適正就業研修会（新入会員対象）開催

2月3日（金）北勢市民会館さくらホールに於いて安全適正就業研修会が開催されました。コロナの影響で約3年開催が見送られ、対象者が220名のところ出席者は50名でした。講師は、津地区医師会 介護支援センター管理者 長沼理恵氏で「就業現場でのヒヤリハットを防ぐために」をテーマに解かりやすく解説して頂きました。終了後のアンケートでは、「いつも体調管理をして万全の体調で仕事に行きます。」「基本を守ることが重要と確認出来ました。」「長沼先生の話し方は強弱があって、大変解かりやすいです。いつも講師によっては眠くなることが多いが今回は大変良かった。」「いろいろな例題を上げて説明してもらえて、勉強になりました。ありがとうございました。」という感想を頂きました。



除草機具の取り扱い・賠償事故防止の為の講習会実施

2月20日に除草機具の取扱い講習会が平野除草総班長を講師に開催されました。今回は昨年刈払機による飛石の賠償事故が多発したので、座学だけでなく事故防止の為の実技講習も行い23名の方が参加され、「とても参考になった。実作業で生かしたい」との感想が聞かれました。

企業訪問を実施（安全・適正パトロール）

今期も就業者の安全確保・適正就業の確認と就業先の責任者との情報交換を目的に企業訪問を実施しました。今回は初めてパトロールする企業が3か所で、就労された会員さんが安全作業されているのが確認出来ました。

実施日	企業就労先（訪問先）
2月6日（月）	北勢・北勢粗大ごみ処理場
2月7日（火）	員弁・東海マシンシステム
2月8日（水）	大安・㈱伊勢藍 JAPAN
2月15日（水）	藤原・自然共生科学㈱